



進藤 健太

「見たことのない何か」
を求めて、半年間の旅を
楽しみたいと思います。

撮影テーマ

アジアの都市を撮影。撮影方法はスナップ。

最近のエントリー

- ▶ ネパール ナガルコット 写真展 (2013.07.22)
- ▶ インド コルカタ (2013.07.09)

アーカイブ

- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



HOME / 海外フォトフィールドワークWeBlog / 183/7300 / 2013年07月 アーカイブ

海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

183/7300

ネパール ナガルコット 写真展

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちは。進藤です。
ぼくらFW8期生は昨日中国に入学しました。
ただいま四川省は成都にいますが、久しぶりの都会に少し興奮しています。

今回はネパールのナガルコットで行った写真展の様をお伝えします。
メンバーは進藤、新庄、平野、超の4人です。
展示内容は「海」。

ネパールの国境は地続きで海が見れないので、小さい子供達を主な対象にして、海の写真を見てもらおうという企画です。

ナガルコットはこんな感じ。
穏やかです。



会場になる学校、Shree Gadgade Lower Secondary Schoolに到着。
企画を説明するためにDMを見てもらいます。





企画を理解してもらい展示の許可をもらえたので、早速行動開始！！
平野君と新庄君は会場の設営及び掃除、僕と超さんは宣伝のため街の人達にDMを配りにいきます。



今回協力してくれることになったナガルコット在住の青年ビルマ。現地の言葉で写真展の内容をより詳しく伝えてくれています。21歳、ほくと同い年。



準備2日目。
翌日展示がオープンなので設営作業が本格的に。



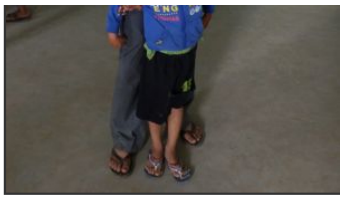


写真展開催当日。
AM9時スタートですが、早くもたくさんの子供達が来てくれました。



チェキで記念写真を撮ってあげるととても嬉しそうにしてくれます。
写真を撮られるときは真剣な表情の人が多かったです。





宿泊先のゲストハウスで一緒になった中国人の旅行者の方も見に来てくれました。



二日間の展示期間で学生を200人以上の人達が写真を見に来てくれました。
半分以上は子供たちですが、大人の方々も見に来てくれて交流できたのがとても大きな経験となったと思います。

カトマンスへ帰る日。
先生方と学校の子供達がお別れ会を聞いてくれ、感謝の歌を聞かせてくれました。
ぼくもお返しに何か歌おうということになり、4人全員が知っている歌が「幸せなら手を叩こう」しかなくなぜかそれを歌いました。思い出すとちょっと面白い光景だったと思います(笑)



さあお別れです。
今回の展示に自主的に協力してくれてプライベートでも仲良くなったビルマと記念写真。
僕がかぶっている帽子は先生方がプレゼントしてくれたネパールの帽子。
すばらしいフィット感！！
ありがとう、ナガルコット！！
さようならー！！



最後の写真は、はじめてナガルコットの学校を訪問した時にいただいた歓迎の花束。



写真展に協力していただいた皆様に深く感謝します。
ありがとうございました！！

カテゴリ：
post by 進藤 健太 | 日時: 2013.07.22 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

🇮🇳 インド コルカタ

[Tweet](#)

[Check](#)

だいふ間が空いてしまい申し訳ありません。
お久しぶりです、進藤です。

いま僕らFW8期生はネパールにいます。

久しぶりのブログなのですが、ホテルのWiFiが安定しない性なのか写真がアップされないので、僕がインドで訪れた地域の中で印象強かったコルカタを文章のみで簡単にご紹介します。

ご紹介するのは西ベンガル州にあるコルカタです。
この街はイギリス植民地時代の首都であったため、街を歩いてみると建築物やタクシーなどを見ているとイギリスの影響を強く受けていることを感じざるをえません。

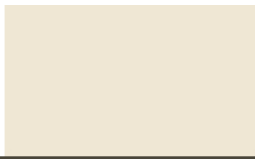
チャイという飲み物があります。ティーです。
僕はミルクチャイが好きだったので一日に何回も飲んでいたので、このチャイはいい紅茶の葉っぱからは作れないそうです。
そもそもイギリス植民地時代に、いい茶葉ができてイギリス人が全て持って行ってしまっ、インドの人々の手元に残ったのは出荷できないような悪味の茶葉でした。

そこでインド人が思いついたのがチャイ！！

少量の茶葉をミルクで煮出して大量の砂糖で味付け。
完成！！

これがアホみたいに美味しい。
僕はかなり甘めのチャイが好きです。
蒸焼きのコップで飲むのですが、飲み終わったら地面にポイします。
あれが綺麗に割れた時は、快感。
コルカタでは行きつけのチャイ屋ができたので移動日は少し寂しかったです。

カテゴリ：
post by 進藤 健太 | 日時: 2013.07.09 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)



[▲ Pagetop](#)

[HOME](#) | [資料請求](#) | [プライバシーポリシー](#)

掲載の写真・記事の全部および一部の無断転載、引用を禁じます。
Copyright(c)2003 NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE All rights reserved.